

就任あいさつ

新聞販売に携わった32年

理事 中嶋 浩一

1964年、東京オリンピックの年に生まれ、幼少の頃より野球に没頭し、読売巨人軍を目指すも夢かなわず、読売新聞社に縁ができて1987年に入社。以来、32年が経過しました。

「新聞社＝記者」という印象があると思いますが、私はこの4月まで30年以上、販売現場の世界に携わってきました。読売新聞販売店（YC）を通じて、ご愛読者に新聞を届け販売するだけでなく、満足感をお届けしようと日夜、心がけてきました。その本質には、「小さな親切」運動と通じる部分があるかと思います。

これからお役に立てるように努力します。よろしくお願いいたします。



森本副代表のお誘いを受けて

理事 保田 博

この度「小さな親切」運動への仲間入りをお許しいただいた保田博です。

私は、永年、大蔵省（現在の財務省）で働き、その後も、日本輸出入銀行、国際協力銀行等、専ら、公的な仕事ばかりやってきました。

この間、かねてより、同じ広島県人である森本副代表からのお誘いを受け、『運動』の輪の中に入れていただくこととなりました。

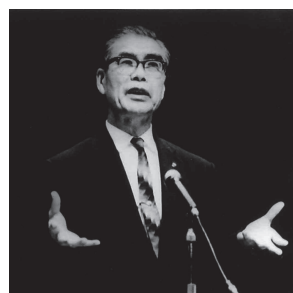
既に満八十七才ですが、子供の頃から、鍛えに鍛えた足腰だけは、まだまだ相当のモノと自負しております。今後とも、どうか、ヨロシク御高導のほどを!!



55年前の東京オリンピックからはじまった心のバトンを2020年につなぐ

大きな勇気と大きな努力を持って

1964（昭和39）年6月13日
寄稿文



初代代表
茅 誠司

「小さな親切」運動が始まってから、ちょうど今日で満一年になりました。戦後17年がたちましたが、その中で大きな事柄が二つありました。一つは産業が進興し生活が非常に豊かになったこと、もう一つは民主主義が突然与えられたことであります。

民主主義は、平等、自由、友愛の三つの基礎の上にたつものだと思います。現在の社会情勢のもとでは、平等と自由を要求する声は非常に強かったのですが、友愛は忘れられた感があります。

「小さな親切」運動は友愛の精神を植えつけ、本当の民主主義を育てる運動だと思います。友愛に満ちた社会にするためには、一人ひとりの心に「小さな親切」を植えつけ、心のともしびとして一生をつらぬくことが大切だと思います。

今年の秋にはオリンピックが開かれますが、私たちは本当の意味での誠意と親切をつくることによって、オリンピックをお手伝いしたいと思います。

友愛に満ちたあたたかな社会にすることは決して安易なものではなく、遠い道であります。この目的に向かって一生をつらぬいていくには大きな勇気と大きな努力が必要だと思います。

そのために、「小さな親切」運動を、お互いが手をたずさえて大きな勇気と大きな努力をもって進めて下さるようお願いいたします。

第9回 社員総会報告

とき：令和元年6月7日（金） ところ：東京・ベルサール飯田橋駅前 2階会議室

平成30年度活動要旨

理事会内に設置した東京2020オリンピック・パラリンピック準備委員会で検討を重ねた結果、「伝えよう、日本の心プロジェクト」を立ち上げ、全国に先駆け山形県と三重県であいさつ運動をプレスタートした。

会員数：172,229名

実行章受章者数：5,906,210名

地域組織：33道府県本部 139市町村支部

（平成31年3月31日現在）

令和元年度活動要旨

「伝えよう、日本の心プロジェクト」を本格的に始動する。「小さな親切」運動は1963（昭和38）年に発足し、翌年の東京オリンピックを機に全国に運動の輪が広がったことから、50数年にわたり運動を通じて培ってきた心の育成活動を、既存5事業をアレンジし全国展開することで、日本人の親切心やおもてなしの心を世界に知ってもらう機会とする。

運動方針

日本の美風の「蘇生」と「新生」

重点活動

東京2020応援プログラム認証事業
「伝えよう、日本の心プロジェクト」

主な活動のポイント

- 「小さな親切」実行章
実行章バッジを大人・子ども兼用の1種類に統一。デザインは従来の大人用を流用。
使用開始日：4月25日発表分より（第667回）
販売価格：150円（送料別）
★「伝えよう、日本の心プロジェクト」事業として展開
海外との交流や外国人に親切にした実行章受章者には、特別バッジを寄贈する。
- 第44回 作文コンクール
- 第35回「小さな親切」はがきキャンペーン
★「伝えよう、日本の心プロジェクト」事業として展開
両コンクールともに、共通特別テーマを設け、海外の方との交流体験を募る。
- 青少年すこやか育成事業〈（公財）JKA 補助事業〉
幼児向けプログラム及び教材「おはなしメリーゴーランド」を完成し、保育園や幼稚園で取り組んでもらう。
- みんなつながろ、トモダチ作戦
★「伝えよう、日本の心プロジェクト」事業として展開
「東京2020応援マーク」をいれた活動推進グッズ（のぼり・たすき・ポスター）を作製、実施団体へ提供する。
- 日本列島クリーン大作戦
★「伝えよう、日本の心プロジェクト」事業として展開



「東京2020応援マーク」をいれた活動推進グッズ（のぼり・ポスター）を作製、実施団体へ提供する。

●令和元年度全国表彰式

とき：令和元年11月23日（土）12:30～15:30
ところ：東京・霞が関ビル35階 東海大学校友会館
プログラム：各種表彰、アトラクション

●運動グッズの販売

ボールペン @ 100円
クリアファイル @ 50円
不織布バッグ @ 200円
※会員割引あり。（詳しくはWebサイトをご覧ください）

役員の選任

理事2名が退任し、新たに2名の理事が就任。理事数11名。

退任理事：2名

杉 忠重 人材育成学会理事
村越輝章 読売新聞東京本社販売局次長兼販売管理部長

新任理事：2名

保田 博 公益財団法人資本市場振興財団顧問
中嶋浩一 読売新聞東京本社販売局次長兼販売管理部長

■総会資料はWebサイトにて情報を公開しておりますので、ご覧ください。

皆様の会費・寄附で運動を推進しています

平成30年度 会費等使途内訳

